

2013年12月期 第2四半期 決算説明会

2013年8月8日
JUKI株式会社
取締役社長 清原 晃

Mind & Technology

JUKI
Mind & Technology

目次

第1部 2013年12月期(2013年度)上期 業績の概要

- | | |
|---------------|---|
| 1. 業績推移・配当 | 3 |
| 2. 経常利益増減要因 | 5 |
| 3. 主要財務項目推移 | 6 |
| 4. キャッシュ・フロー | 7 |
| 5. セグメント別業績推移 | 8 |

第2部 JUKI構造改革プランの進捗状況

- | | |
|---------------------|----|
| 1. JUKI構造改革プランの概要 | 13 |
| 2. JUKI構造改革プランの進捗状況 | 16 |

第3部 2013年度下期の重点施策

- | | |
|------------|----|
| 1. 環境認識 | 20 |
| 2. 下期の重点施策 | 21 |

第1部
2013年12月期(2013年度)上期
業績の概要

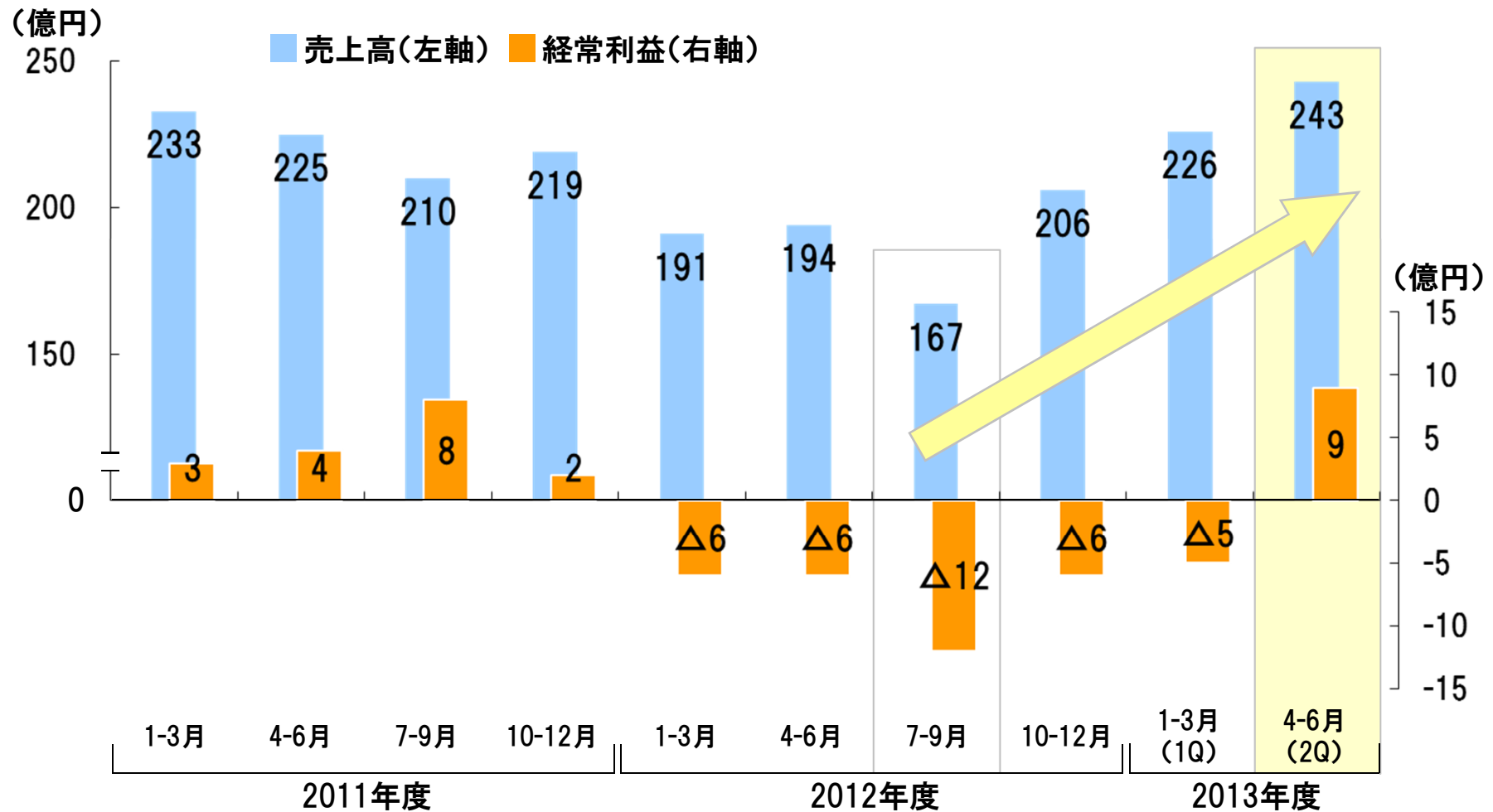
売上高は、縫製機器事業がアジアの新興国地域で大幅に増加したことに加え、円安基調で推移したこと等により前年同期比22%増収。1Qに実施したバリューチェーン構造改革によるコスト削減効果及び円安影響等により、2Qは営業・経常・当期純利益とも黒字転換。この結果上期において営業・経常利益が黒転 (百万円)

	12/12期 (12年度)				13/12期 (13年度)			前年同期比 増減額 [B-A] (増減率)	
	上期			下期	上期				
	1Q	2Q	上期[A]		1Q	2Q	上期[B]		
	12年1-3月	12年4-6月	12年1-6月	12年7-12月	13年1-3月	13年4-6月	13年1-6月		
売上高	19,114	19,378	38,492	37,339	22,624	24,298	46,922	8,430 (21.9%)	
営業利益	△230	△433	△663	△788	255	1,247	1,503	2,166	
経常利益	△659	△567	△1,226	△1,770	△531	902	370	1,596	
当期純利益	△722	△477	△1,199	△7,143	※△2,128	758	△1,369	△170	
配当	—	—	0円/株	0円/株	—	—	0円/株	—	
為替 レート	ドル ユーロ	79円 105円	80円 101円	80円 103円	80円 103円	91円 120円	98円 128円	95円 124円	15円 21円

*為替レートは営業利益に影響する期中平均レート

※13年度1Qの特別損失(15.4億円)の内訳: 希望退職者の募集による特別退職金14.6億円、その他0.8億円

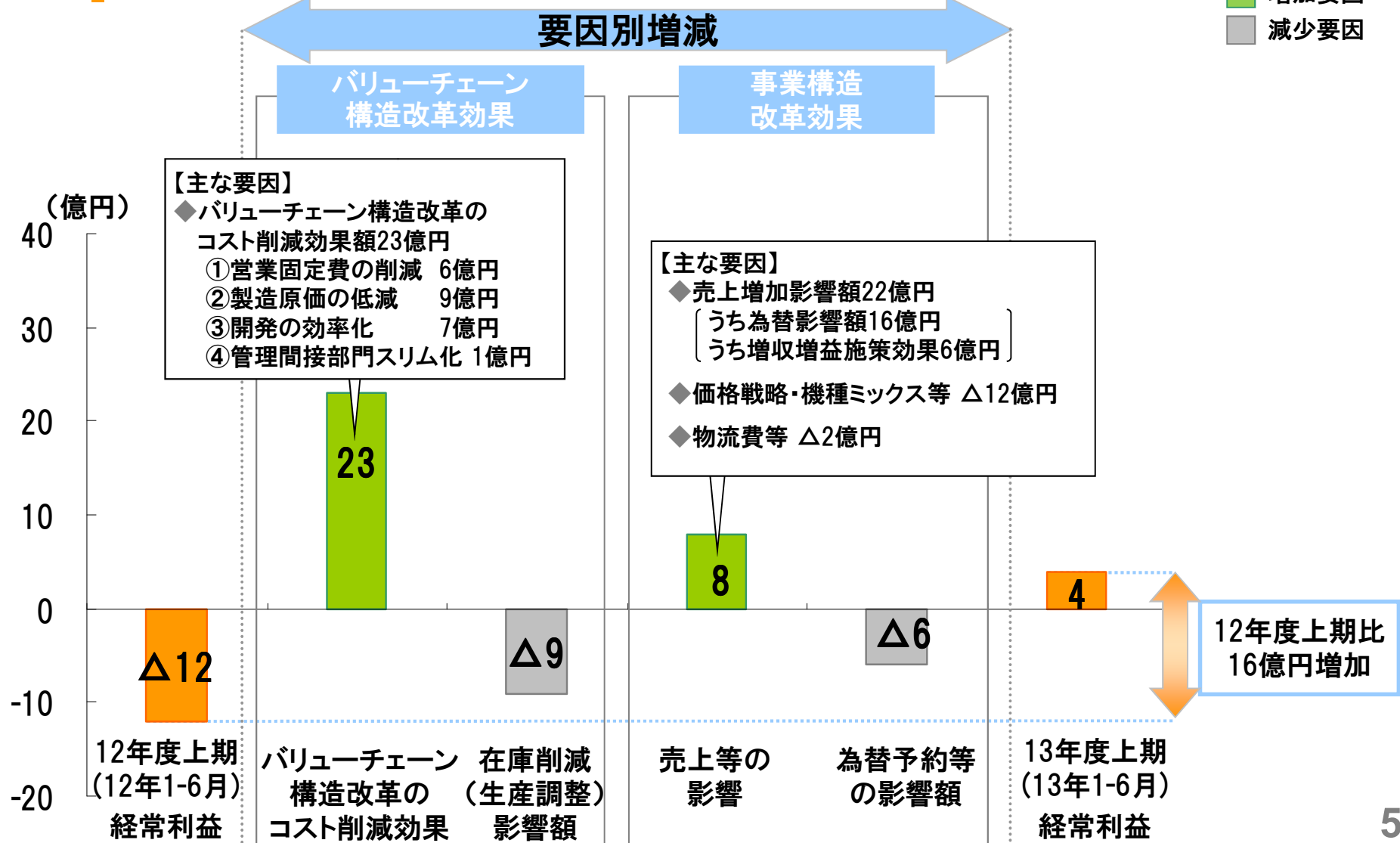
売上高、経常利益とも2012年度7-9月をボトムに、大幅回復
2Qは構造改革の効果等により6四半期ぶりに黒字転換



為替レート (ドル)⇒ (82円) (81円) (77円) (77円) (79円) (80円) (78円) (83円) (91円) (98円)

生産調整による在庫削減影響額は△9億円あったが、コスト削減効果(23億円)と売上等の影響(8億円)などにより、前年同期比16億円の増益

■ 増加要因
■ 減少要因



自己資本比率は5%に上昇。在庫は、生産調整等により積極的に削減した結果43億円減少。
有利子負債は11億円減少⇒財務内容は、着実かつ大きく改善

	12/12期末 (12年12月末) [A]	13/12期 1Q末 (13年3月末)	13/12期 2Q末 (13年6月末) [B]	増減額 [B-A]	
総資産	110,341	111,141	108,478	△1,863	
純資産	4,934	4,243	5,799	※1 865	
自己資本比率	4.2%	3.5%	5.0%	0.8%	
売上債権	21,193	22,562	23,614	※2 2,421	
在庫 (在庫回転期間)	43,592 (6.9ヵ月)	41,015 (5.4ヵ月)	39,332 (5.0ヵ月)	※3 △4,259 (△1.9ヵ月)	
仕入債務	10,112	7,962	9,397	△715	
有利子負債	80,172	81,509	79,109	※4 △1,064	
現預金	8,066	11,299	9,199	1,133	
為替レート (期末)	ドル	87円	94円	99円	12円

※1【純資産の増加額9億円の
主要内訳】

- ①利益剰余金△14億円
- ②為替換算調整勘定+18億円
- ③有価証券評価益等+5億円

※2【売上債権】

- ・うち為替影響額+1,845百万円
- ⇒実質(CF)増加額576百万円

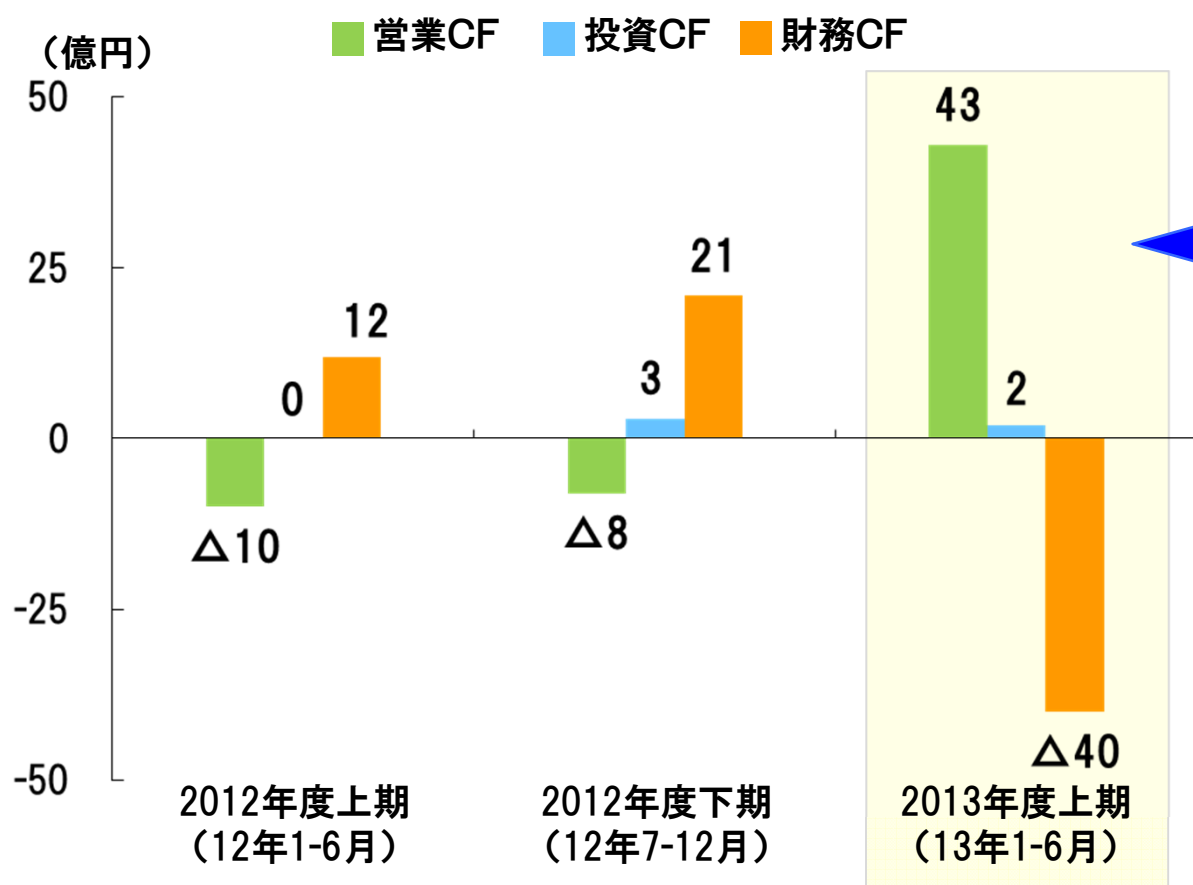
※3【在庫】

- ・うち為替影響額+3,845百万円
- ⇒実質(CF)減少額8,104百万円
- ・在庫回転期間:1.9ヵ月減少

※4【有利子負債】

- ・うち為替影響額+2,882百万円
- ⇒実質(CF)減少額3,946百万円

営業CFは在庫削減等により、プラス43億円と大幅改善
 これにより、財務CFはマイナス40億円



2013年度上期
 キャッシュ・フロー(要約)

(億円)

営業CF	43
在庫	81
減価償却費	15
退職金等支払い	△26
その他	△27

投資CF	2
設備投資	△3
固定資産売却	2
その他	3

財務CF	△40
-------------	------------

縫製機器は、アジアの新興国地域での大幅な販売増と円安影響により増収
産業装置は、昨年のタイ水害復興需要(10億円)の反動があるも、前年同期と同水準を確保

(百万円)

	12/12期 (12年度)				13/12期 (13年度)			前年同期比 増減額 [B-A] (増減率)
	上期			下期	上期			
	1Q	2Q	上期[A]		1Q	2Q	上期[B]	
	12年1-3月	12年4-6月	12年1-6月	12年7-12月	13年1-3月	13年4-6月	13年1-6月	
縫製機器	12,675	12,587	25,262	27,162	16,492	17,177	33,669	8,407 (33.3%)
産業装置	4,706	4,998	9,704	6,776	4,414	5,383	9,797	93 (1.0%)
その他	1,731	1,793	3,524	3,402	1,717	1,738	3,455	△69 (△2.0%)
合計	19,114	19,378	38,492	37,339	22,624	24,298	46,922	8,430 (21.9%)

13年度2Q及び上期は、全事業部門で黒字に転換。生産調整のマイナス影響があったが、2Qの利益率は縫製機器3.3%、産業装置5.8%となり改善中

(百万円)

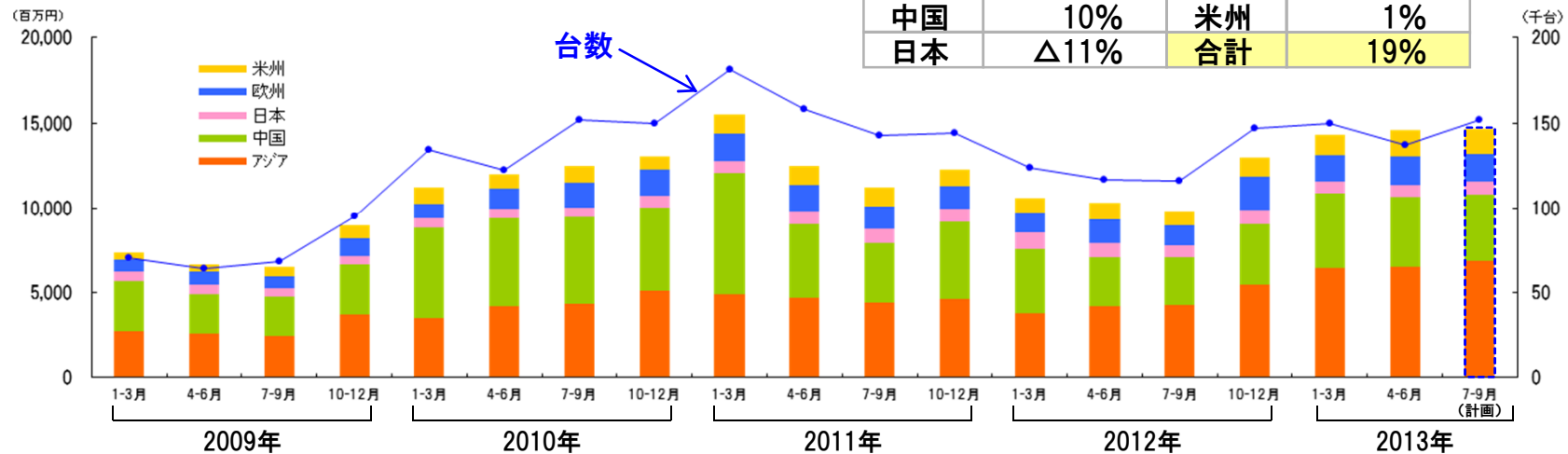
	12/12期 (12年度)				13/12期 (13年度)			前年同期比 増減額 [B-A] (増減率)
	上期			下期	上期			
	1Q	2Q	上期[A]		1Q	2Q	上期[B]	
	12年1-3月	12年4-6月	12年1-6月	12年7-12月	13年1-3月	13年4-6月	13年1-6月	
縫製機器	△127	△488	△615	112	△104	566 (3.3%)	462	1,077
産業装置	△47	△228	△275	△754	△144	314 (5.8%)	170	445
その他	101	118	219	114	90	103 (5.9%)	193	△26
調整額	△586	31	△555	△1,241	△373	△82	△455	100
合計	△659	△567	△1,226	△1,770	△531	902 (3.7%)	370	1,596

(参考①)

セグメント別業績 地域別売上高(縫製機器)

アジアの新興国地域において、産地移動や米州・日本等向けのアパレル需要回復にともなう設備投資需要が大きく伸びたことに加え、円安基調の影響もあり大幅に増加

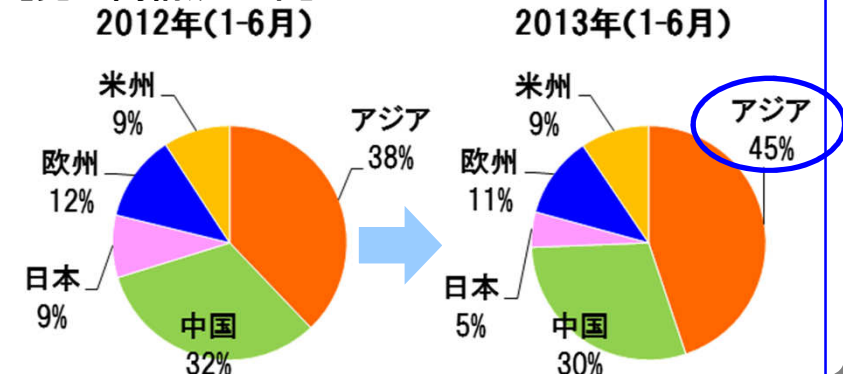
【縫製機器:工業用マシン製品の地域別売上高推移】



【売上高:前年同期比較】

	2012年 (1-6月)	2013年 (1-6月)	増減額	増減率
アジア	79	130	51	65%
中国	68	85	17	25%
日本	18	14	△4	△22%
欧州	25	33	8	32%
米州	19	27	8	42%
合計	209	289	80	38%

【売上高構成比率】



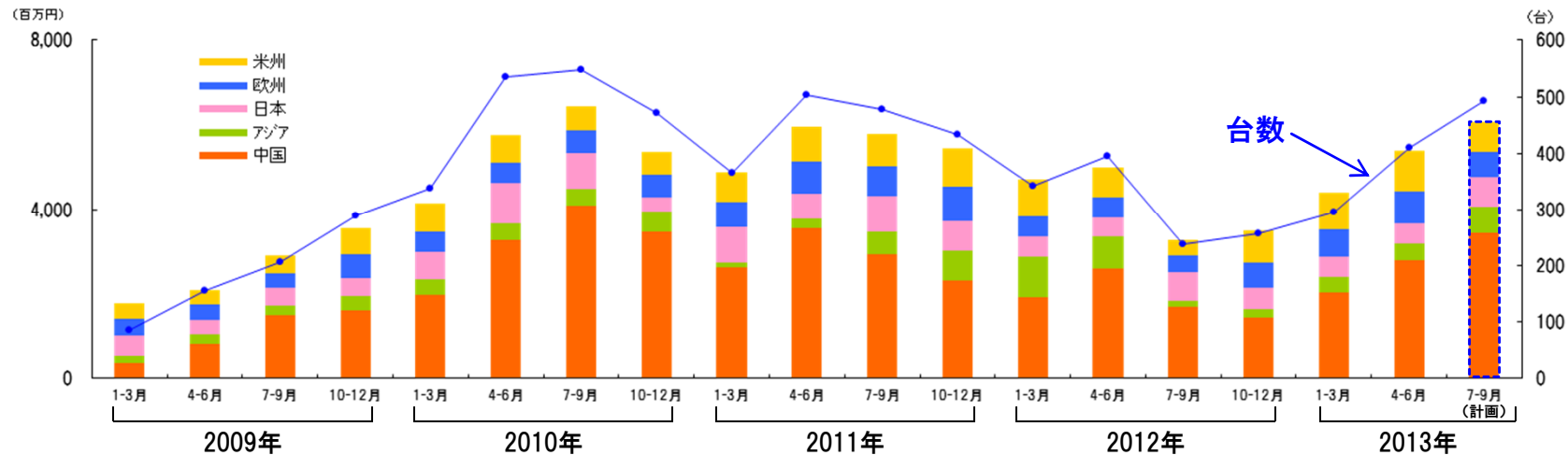
(注)月次の工業用マシン製品の販売数字を集計したものであり決算数字とは合致しない

(参考②)

セグメント別業績 地域別売上高(産業装置)

中国及び欧米での売上高は徐々に回復し、LED市場向け製品の販売も増加
アジアはタイの水害復興需要の反動により、前年同期比減少

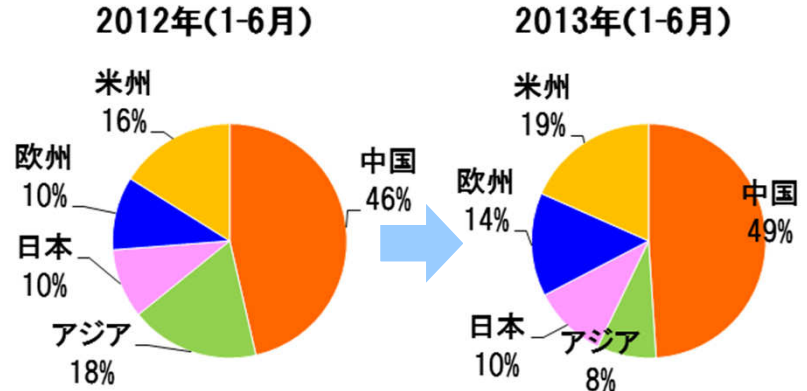
【産業装置：地域別売上高推移】



【売上高：前年同期比較】

	2012年 (1-6月)	2013年 (1-6月)	増減額	増減率
中国	45	48	3	7%
アジア	※17	8	△9	△53%
日本	9	10	1	11%
欧州	10	14	4	40%
米州	16	18	2	13%
合計	97	98	1	1%

【売上高構成比率】



※タイの水害復興需要(約10億円)を含む

(注)月次販売数字を集計したものであり決算数字とは合致しない

第2部

JUKI構造改革プランの進捗状況

**JUKI構造改革プラン
(2つの構造改革)**

1. バリューチェーン構造改革 [コスト削減施策]

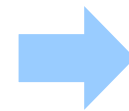
2. 事業構造改革 [増収増益施策]

1. バリューチェーン構造改革 [コスト削減施策]

損益分岐点売上高の引き下げにより、2012年度と同水準の売上高でも黒字を確保できる体制の構築を図る

■ 4つの業務プロセス[(営業・製造・開発・管理)=バリューチェーン]において、
聖域なき固定費・変動費を削減

- ① 営業固定費の削減
- ② 製造原価の低減(トータルコストダウン)
- ③ 開発の効率化
- ④ 管理間接部門のスリム化



損益分岐点売上高
の引き下げ

◆ 上記施策を受けた人事施策および
在庫削減によるキャッシュ・フロー改善の実施

2. 事業構造改革 [増収増益施策]

トップブランドを有するグローバル企業として更に成長していくための強い事業基盤の構築を図る

- マーケット戦略の選択と集中により、縫製機器事業、産業装置事業ともに経営資源を成長市場・得意領域に集中投入

① 縫製機器事業：重点市場と事業領域の拡大

1 重点市場	東南アジア・南アジア等の成長する新興国へ体制をシフト
2 重点事業領域	ノンアパレル、ニット、パーツ、家庭用ミシンを強化
	布帛は自動機の営業を徹底
	大手顧客の特注開発業務にも注力(事業領域拡大)
重点市場への販売体カシフト	アライアンスによる事業領域の拡大

② 産業装置事業：得意領域への重点化と事業領域の拡大

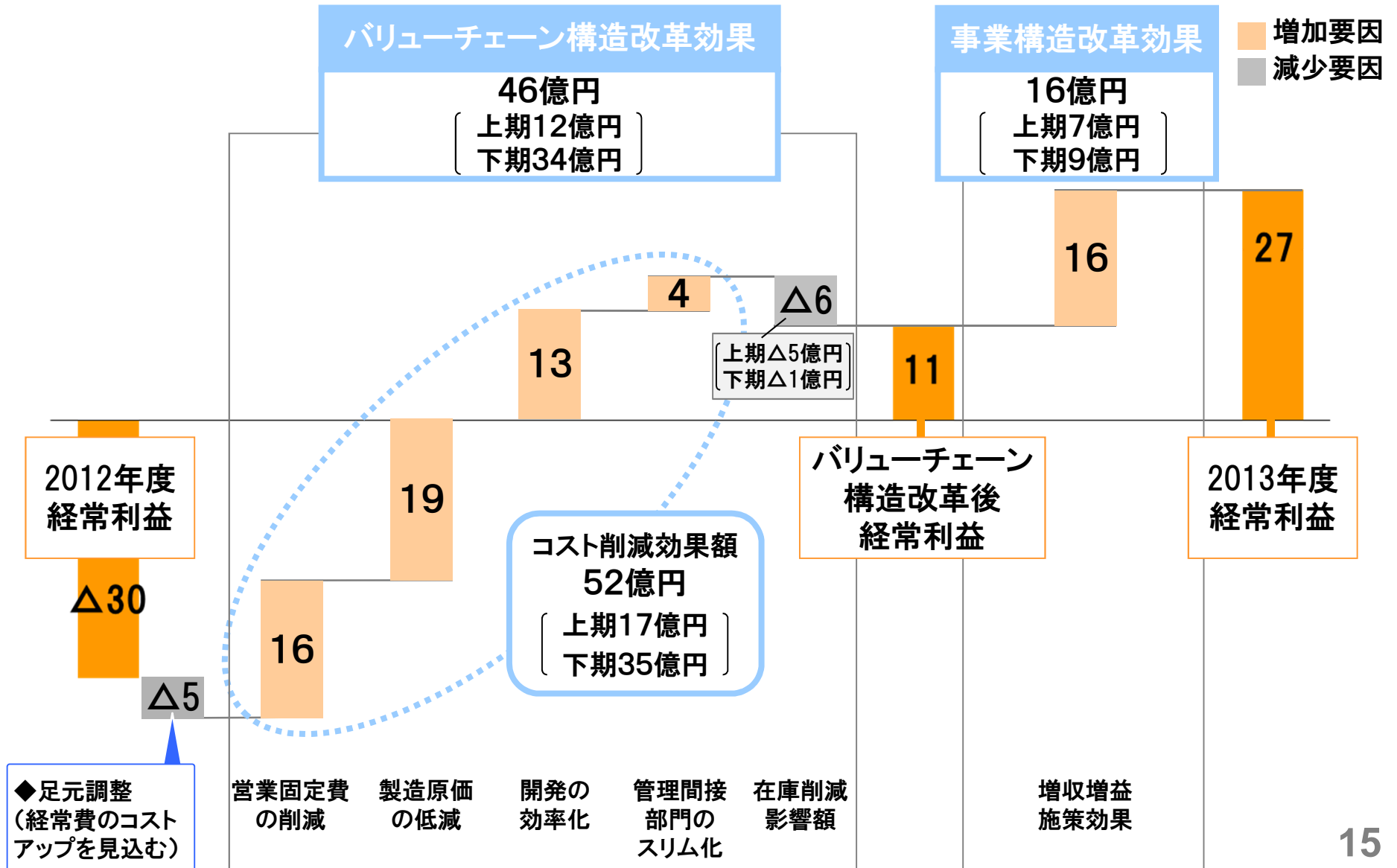
1 得意領域	汎用ライン等に特化(LED市場の攻略等)
	… チップライン
2 事業領域拡大	省人化・省力化市場での販売展開
重点市場の販売体制強化(代理店体制の再構築)	アライアンスによる事業領域の拡大

③ 重点市場への販売体カシフト

増収増益施策を実施

【JUKI構造改革プランの効果(2013年度年間)】

(単位:億円)



(単位:億円)

上期

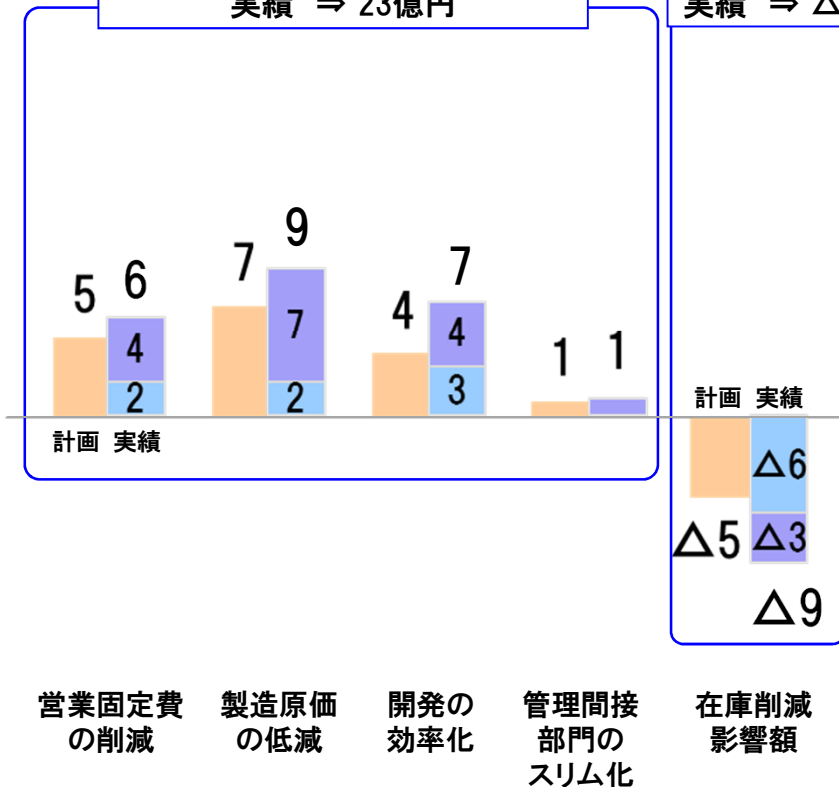
バリューチェーン構造改革効果

計画 ⇒ 12億円
実績 ⇒ 14億円

■ 上期計画
■ 1Q実績
■ 2Q実績

【コスト削減効果額】
計画 ⇒ 17億円
実績 ⇒ 23億円

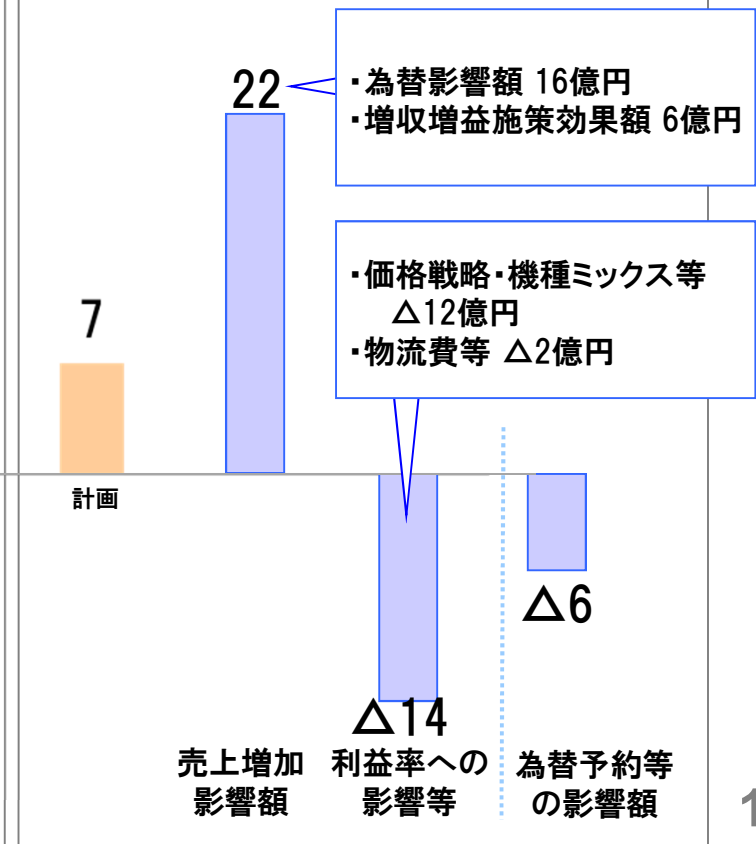
【在庫削減影響額】
計画 ⇒ △5億円
実績 ⇒ △9億円



事業構造改革効果

計画 ⇒ 7億円
実績 ⇒ 22億円

■ 上期計画
■ 上期実績



下期

**「持続的に収益を上げられるコスト構造」
の構築**

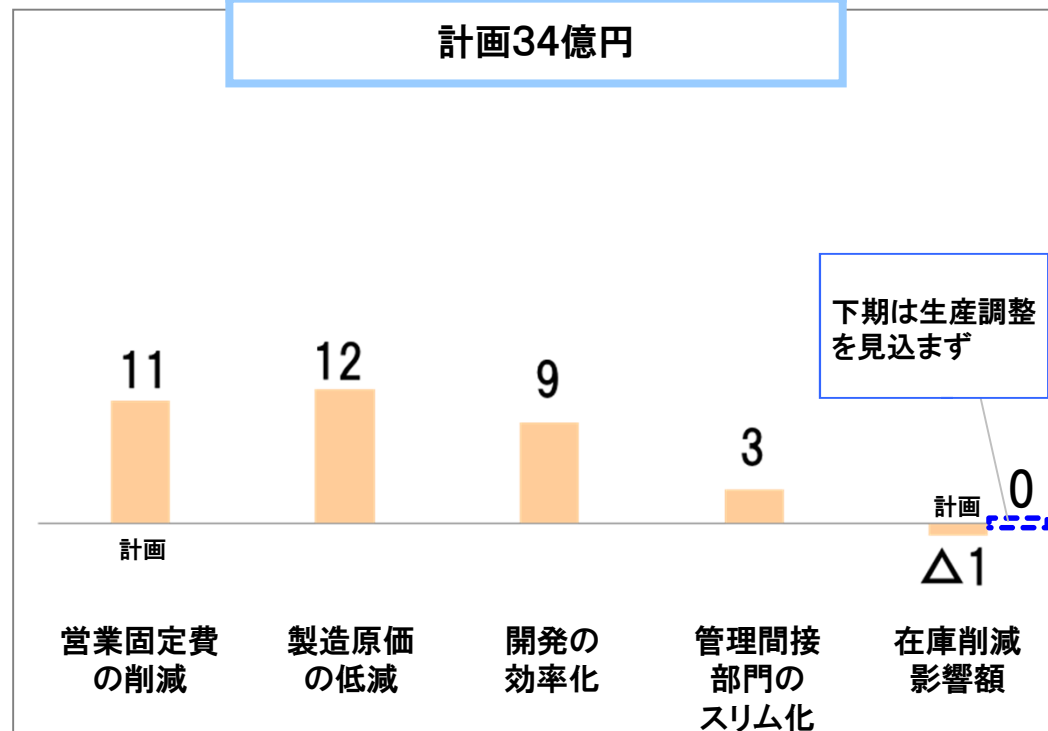
- コスト削減の施策は上期で終了、その効果を実現
- 在庫削減(生産調整)は上期で計画達成につき、下期は見込まず

【下期の重点施策】

- ① マーケット戦略の更なる強化
⇒引き続きマーケットを拡大
- ② 機種ミックスの改善、新製品投入等
による利益率の向上

バリューチェーン構造改革効果

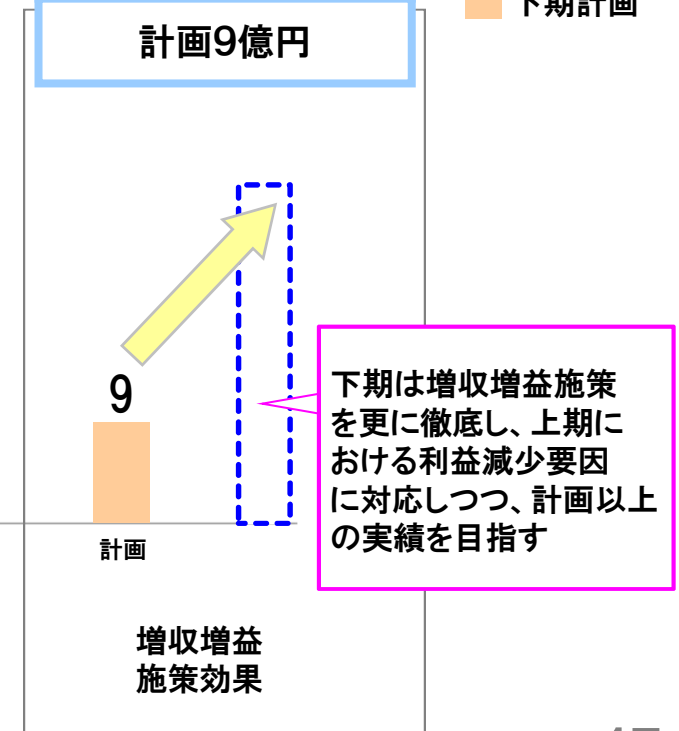
計画34億円



事業構造改革効果

(単位:億円)

計画9億円



第3部

2013年度下期の重点施策

2013年度通期の業績予想につきましては、今秋、産業装置事業においてソニーグループとの事業統合を予定しており、現時点において業績に与える影響額が未定であるため、本年5月8日に公表した数値から変更しておりません。今後、見通しが明らかになり次第、公表してまいります。

(億円)

	2013年度通期(1-12月) 業績予想 (5月8日公表)
売上高	820
営業利益	37
経常利益	27
当期純利益	8
期末配当	未定

環境認識

■ 世界経済は米州、日本を中心に回復基調

欧州、日本は財政の構造問題

中国は金融や経済が不確実

米国の金融緩和縮小による新興国からの資金流出懸念
⇒新興国の経済成長鈍化懸念

■ グローバルの競争環境は一段と厳しさを増している

縫製工場や電子工場の設備投資は増加傾向ながら、
必要な投資をきめ細かく進めている状況

「JUKI構造改革プラン」
を完遂

- ①「持続的に収益を上げられるコスト構造」を堅持
- ②「世界でNo.1の顧客層を有する強い事業基盤」を構築

1-(1). 営業（縫製機器・産業装置）

「未攻略・未開拓マーケット」におけるお客様づくりを推進
[マーケット戦略の強化]



「売上高で営業地域ナンバーワンのシェア」を目指す

徹底的な顧客開拓

顧客管理体制の
再構築

販売・サービスの
チャネル改革

アライアンスの
活用

1-(2). 縫製機器の主な施策

【重点市場】 顧客増強 ⇒ マーケット戦略の強化

- ① 徹底的な顧客開拓及び販売・サービスのチャネル改革
 - ・成長するアジア(バングラデシュ、ベトナム、インドネシア等)での販売拡大
- ② アライアンスの活用
 - ・シルバ社との相互総代理店契約によるブラジルでの販売強化

【売上高構成比率】

	2013年 (1-6月)	2013年 (7-12月)
アジア	45%	47%
中国	30%	27%
日本	5%	5%
欧州	11%	11%
米州	9%	10%

【重点事業領域の拡大】 収益増強 ⇒ 利益率の高い製品の販売拡大

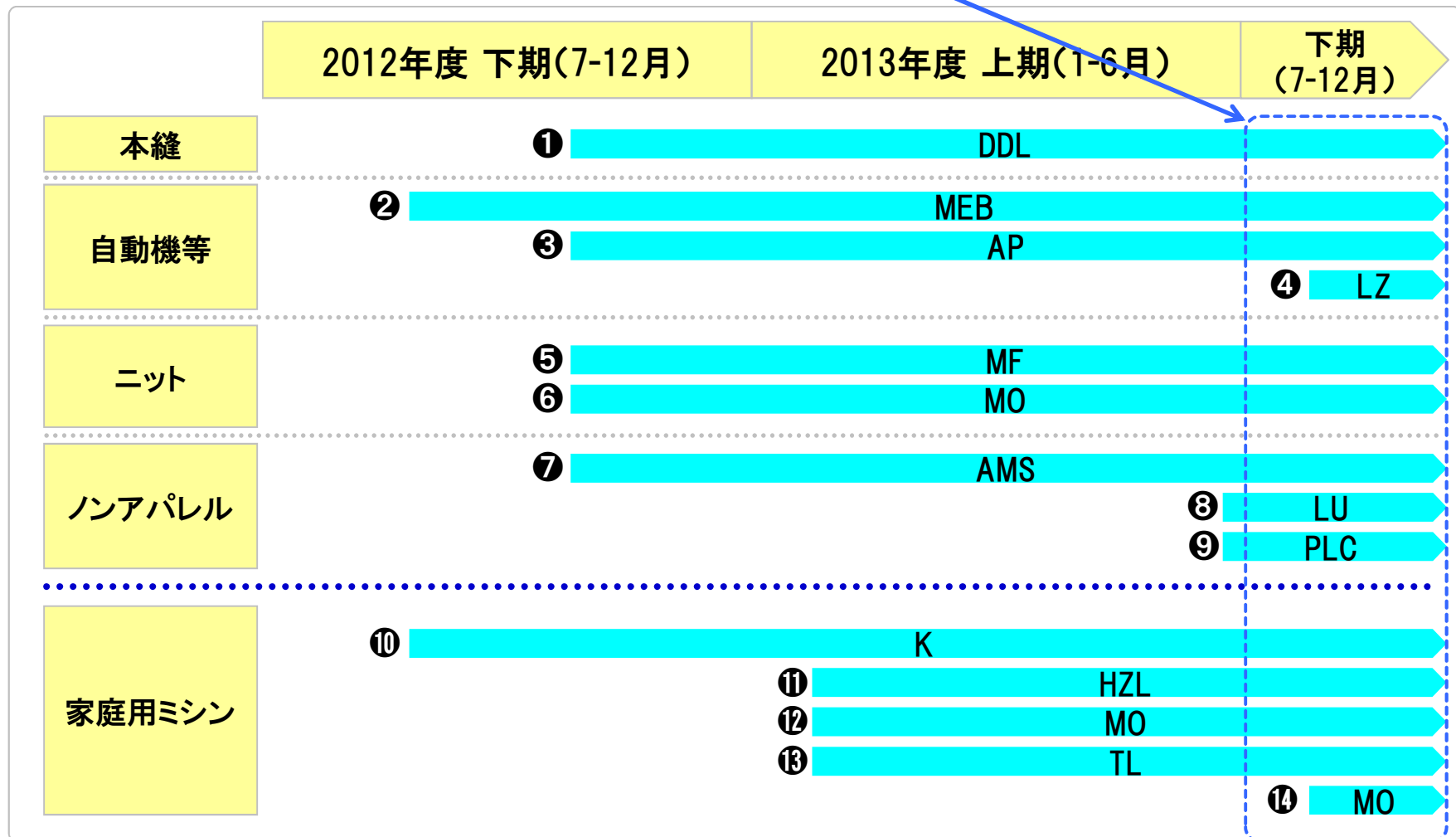
- ① 自動機等
 - ・新製品等による販売拡大
- ② ニット
 - ・新製品(MF)及びシルバ社とのアライアンス活用による販売拡大
- ③ ノンアパレル
 - ・新製品(LU、PLC)による、自動車、シューズ市場等での販売拡大

【売上高構成比率】

	2013年 (1-6月)	2013年 (7-12月)
布帛※	77%	74%
ニット	10%	11%
ノンアパレル	13%	15%

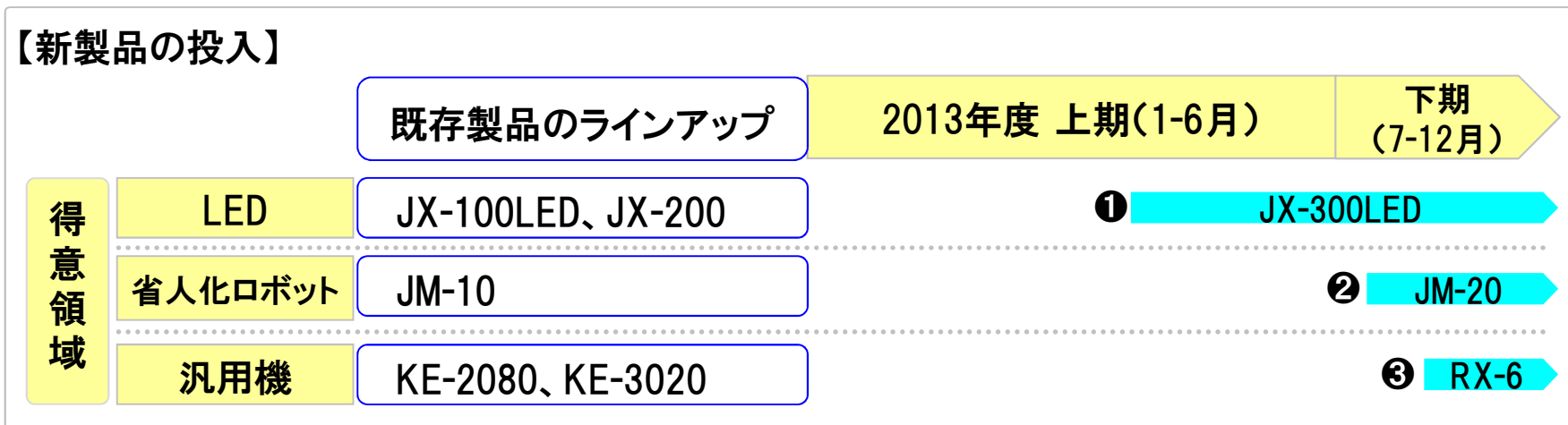
※自動機を含む

過去1年強で縫製機器の新製品(主要機種)を14機種投入
⇒下期は新製品による販売拡大に更に注力



1-(3). 産業装置の主な施策

【得意領域における販売拡大】 ⇒ 新製品の3機種投入

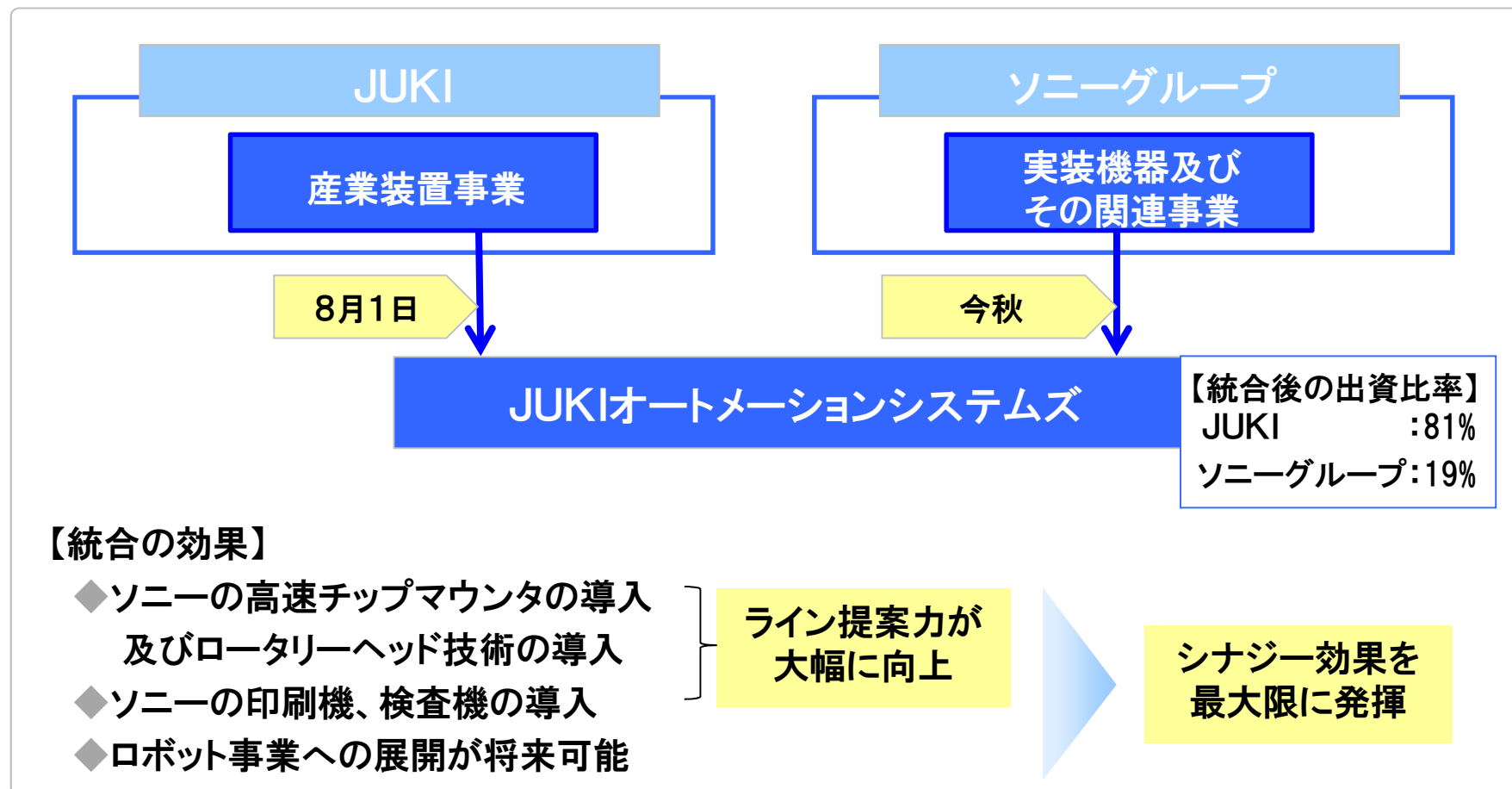


【ソニーグループとの事業統合による販売拡大】

今秋予定のソニーグループとの事業統合により、販路拡大及び製品ラインアップの拡充を図り、販売を更に拡大

【アライアンス：ソニーグループとの合併会社設立】

- 8月1日：JUKIオートメーションシステムズ設立
- 今秋：ソニーグループとの合併会社スタート



本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI株式会社

お問合せ先： 総務部 総務・広報グループ 担当：寒川^{そう がわ}

TEL :042-357-2398 FAX :042-357-2399

ホームページURL： <http://www.juki.co.jp/>